

八、六日以來工事中の嵐に官備置審市官幸次知事未轉覽  
 本工事對清水組備置の不利更に夫々不備置を承るに御時  
 式、御備置生風因  
 八、御備置生風因 御時式幸三日一日  
 十、御備置生風因 官備置人員  
 六、御備置生風因 官備置十〇名（官備置正各人夫一正各）  
 五、工事費懸階 金登積萬十千圓  
 四、工事費治管 備置人員 東京 市 官 幸 次  
 三、專業の懸階 御備置交對風懸業工事式官備  
 二、御 備 八登米市日吉御  
 一、御 備 御本懸置風八登米置備交對風  
 八登米置備交對風懸業工事費懸階

法人 御備置會福岡出張所

法人 協調會福岡出張所

金約八百圓に達し従業員の請求にも不拘容易に支拂す之れが  
 金策と稱して歸京中の折柄、二月二十八日同従業員一同對策  
 協議の結果、交渉委員を擧げて清水組福岡支店に交渉すると  
 共に賃金支拂迄休業することを申合せ遂に三月一日より罷業  
 を敢行するに至れり。  
 十、經過並に解決狀況  
 三月三日右交渉委員は清水組福岡支店に至り未拂賃金の支拂  
 を要求したるも、清水組にては直接雇備關係なして拒絶し  
 たので責任者たる下請負人市官幸次の來るを待つの外なきに  
 至れり。  
 然るに本件を憂慮したる現場監督は三月五日清水組福岡支店  
 より現金八百圓を借受け二月二十八日迄の未拂賃金全部を支  
 拂へり。依つて同日より就業するに至りたるも更に工事完成